

# Profile



## 藤井 宏樹 指揮

山梨県出身。  
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔氏に、指揮法を黒岩英臣氏に師事。  
現在、全10団体(アカシアコーラス、樹の会コースクワイア〜奏〜、女声合唱あやのね、合唱団ゆうか、クールオルタンシア、女声アンサンブル Juri, Nekko male choir、はるか、山梨大学合唱団、横浜市立大学混声合唱団)を有する《樹の会》・Ensemble PVDの音楽監督を務めるほか、合唱団「弥彦」の講師としても活躍している。  
国内外のコンクールにおいては1位、2位という高い評価を得て、海外に招聘される機会も多い。  
また、Tokyo cantat等多くのコンサートや講習会の企画・運営にも深く携わっているほか、現代作曲家への委嘱も多く行っている。  
オーケストラとの共演も多く、東京交響楽団、東京カンマーコレージェンなどとともに数多くの演奏を指揮し、好評を博している。21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」幹事。東邦音楽大学特任准教授。JCDA日本合唱指揮者協会会員。

## 具志 幸大 琉球舞踊家・琉球楽器演奏家

1977年沖縄県那覇市生まれ。幼少の頃より沖縄の音楽や舞踊に触れる。  
8歳の頃より、本格的に琉球舞踊・琉球音楽を学び始める。  
1999年、国立劇場第87回舞踊公演「道成寺の舞踊」出演。  
1999年、琉球新報社琉球古典芸能コンクール舞踊最高賞。  
2000年、同コンクール歌三線最高賞。  
2004年、国立劇場おきなわ開場記念公演 初日・千秋楽出演。  
2006年、舞踊リサイタル開催(東京国立劇場・国立劇場おきなわ)。  
2007年、沖縄県高等学校文化連盟功労賞。  
2009年、歌三線リサイタル及び稽古場開設5周年記念演奏会開催。  
これまで琉球舞踊や琉球音楽での活動の他、他のジャンルとの共演も行う。  
合唱との共演は「うっさくわったい」(瑞慶覧尚子作曲)、「沖縄のスケッチ」(寺島陸也作曲)、「伊呀那美・伊呀那岐」(寺島陸也作曲)など。  
沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科舞台芸術専攻修了。

## 関 一郎 尺八奏者・作曲家

神戸商科大学卒業後本格的に尺八を横山勝也氏(琴古流)に師事する。  
1975年「日本伝統楽器による現代演奏コンクール」独奏の部第一位優秀賞受賞、以後内外において広く演奏活動を行う。特に「追分節考」(柴田南雄)は東京混声合唱団、栗友会合唱団、合唱団ゆうか等多くの合唱団と国内を含め中国、北米、カナダ、ヨーロッパ各地で演奏し今まで1000回を数える。  
近年は西洋古楽器アンサンブル(音楽監督、Jordi Savall)による「フランシスコ ザビエル／東洋への道」の公演に参加し1996年以降フランス、スペイン、スイス、ポーランド等で演奏しCDブックもリリースされる。  
作曲の分野では水野修孝、松平頼暁、青島広志、高橋悠治の諸氏に教えを受け、1995年文化庁舞台芸術創作奨励特別賞(第1位)、99年第2回国立劇場作曲コンクールにおいて優秀作品賞(第1位)を受賞し作曲家としても活躍している。



## 神戸市混声合唱団

KOBE CITY PHILHARMONIC CHORUS

1989年に神戸市により設立されたプロの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民に身近な合唱団として親しまれ「音楽のまち神戸」推進に大きな役割を果たしている。2005年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」(阪神・淡路大震災10年)を共演。2010年には、合唱の国ラトビア(リガ市)からの招聘により、世界的に有名な室内合唱団アヴェ・ソルとジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。また、2011年には初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」をリリースし、レコード芸術特選盤に選出される。2012年9月に第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」もリリース。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。

音楽監督 中田 幸子

副指揮者 太田 務・青木 耕平

マネージャー 皆本 美千代

### Soprano

ソプラノ

- 老田 裕子
- 植田 祐佳
- 笠置 雅子
- 金岡 伶奈
- 周防 彩子
- 高山 景子
- 津田 佳子
- 内藤 里美
- 端山 梨奈
- 丸山 晃子

### Alto

アルト

- 福原寿美枝
- 栗木 充代
- 高原いつか
- 友好 博子
- 西本 鑑子
- 野上 貴子
- 肥田真莉子
- 村井 優美
- 八木 寿子
- 山田 愛子

### Tenor

テノール

- 秋本 靖仁
- 井澤 章典
- 古橋 由毅
- 清水 俊徳
- 谷口 文敏
- 土井 淳平
- 馬場 清孝
- 真木 喜規
- 三木 秀信
- 山本 欽也

### Bass

バス

- ★ 石原 祐介
- 福嶋 勲
- 五島 真澄
- 嶋本 晃
- 高橋 純
- 中野 嘉章
- 西尾 岳史
- 藤村 匡人
- 森 孝裕

### Piano

ピアノ

- \* 沢田真智子
- 大原亜樹子
- 河内 仁志
- 多久江里子
- 宮下 恵美

★コンサートマスター ●パートリーダー \*ピアノリーダー



## 神戸市混声合唱団

Kobe City Philharmonic Chorus

# 秋の定期演奏会

Regular Concert in Autumn

神戸市演奏協会 第385回公演

# 「日本のフォルクローレ」さまざま

2013年9月3日(火) 18:30開演

神戸文化ホール 中ホール

主催 / (公財)神戸市演奏協会・神戸市・(公財)神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール

指揮 藤井 宏樹

## Program

### I. 日本民謡による

#### 「合唱のための12のインベンション」より

間宮 芳生 作曲

日本民謡の味わいを深く考察して作られ、その風土、生活のにおいまでも感じさせる作品。

知覧節 (鹿児島)

獅子舞 (山梨)

天満の市は (大阪)

### II. 混声合唱とピアノのためのバラード・アイヌ伝承寓話より

#### 「コタンの歌」より

湯山 昭 作曲

和田 徹三 作詩

昭和45年度芸術祭大賞作品。ピアノを伴い、アイヌの詩情をドラマチックに歌い上げる。

チボ・ハウ  
船漕ぎ歌

独唱 内藤 里美

アツシの歌

イユタ・ウボボ  
白搗き歌

ピアノ 沢田 真智子

休 憩

### 定期演奏会に寄せて 藤井 宏樹

私の敬愛する作曲家が以前「民謡はそれを譜面にした段階で民謡の持つ本質性は失われ、それは新たな創造に委ねられることになる」と話されていた。

人が生き、暮らし、やがて天に召されるその時の流れの脈に、民謡は様々な形の昇華された美として謡い継がれている。そしてそれらの美の本質を掬い取り、演奏作品として変化させた作曲家の多様な世界観は、私達にあらためて民族としての生を豊かに支えてくれる力であると思う。

北に南に今宵は歌の、響の絢爛な粧いを纏うが、それらはすべて人への、世界へ向けての祈りの歌声でもある。

神戸市混声の真摯な作品への愛情と取り組みに新たな喜びを覚え、感謝する次第である。

### III. 追分節考

柴田 南雄 作曲

尺八、語り等を伴い舞台だけでなく会場も使い音（歌）の拡散や移動を行う、シアターピースと定義される作品。

尺 八 関 一 郎

朗読 津田 佳子 端山 梨奈 福原 寿美枝

独唱 秋本 靖仁 谷口 文敏 馬場 清孝 三木 秀信 山本 欽也 藤村 匡人

### IV. 混声合唱、2台のピアノと三線のための

#### 「沖縄のスケッチ」より

寺嶋 陸也 作曲

沖縄地方に伝わる民謡、わらべうたを2台のピアノ、三線、太鼓を伴い歌手による舞踏、エイサーなども加えた演出。

あかなー

独唱 植田 祐佳 老田 裕子 周防 彩子 栗木 充代

だんじゅかりゆし 独唱 丸山 晃子

く だ か  
久高

あか た す ん どんち  
赤田首里殿内

独唱 高山 景子

とうしん  
唐船どーい

演 出 具 志 幸 大

ピアノ 多久 江里子 宮下 恵美

三 線 青木 耕平

太 鼓 笠置 雅子 金岡 伶奈 村井 優美 八木 寿子 井澤 章典 石原 祐介